

2022年12月1日

## 高速造形 金属 3D プリンタ「LPM325S」 広告作品 「第 57 回 日本産業広告賞」入賞のお知らせ

このたび、日刊工業新聞社が選定する「2022年（第57回）日本産業広告賞」において、当社の高速造形 金属 3D プリンタ「LPM325S」の広告作品が、「新聞部門 第1部 第3席」に入賞いたしました。

なお、表彰式は11月30日、受賞企業や来賓、広告会社など約200人出席のもと、東京・虎ノ門のオークラ東京で開催されました。

日本産業広告賞は、日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施しているものです。57回目となる今回は、同賞制定の目的達成に向けてさらに前進するという主旨で、新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の参加作品を広く募り、数多くの企業が参加いたしました。

■受賞内容：日本産業広告賞 新聞部門 第一部 第3席

■受賞作品：

www.sodick.co.jp

第52回機械工業デザイン賞  
**IDEA**  
最優秀賞  
「経済産業大臣賞」  
受賞

高速造形  
金属3Dプリンタ  
**LPM325S**

金属材料の変更は MRS を交換

SDGs にフィットする

GAME CHANGE

2日間 → 2時間

当社従来機 金属材料変更時間  
LPM325S 二時間で終了

新型 Material Recycle System (標準搭載)  
一台のマシンで簡単に多彩な金属材料成形を実現  
LPM325Sは標準搭載「交換・取り出し可能なMRS」を交換することで、多種多様な金属で3D成形が可能です。従来の従来の材料の交換は2〜3回の作業を要して準備が必須でしたが、LPM325Sでは1回の作業で材料の交換が可能です。一部設置で従来の材料の交換が可能です。また、MRSの交換作業も自動化されています。LPM325Sは、多彩な金属材料のインポート/エクスポートの自動化も実現しています。また、MRSの交換作業も自動化されています。また、MRSの交換作業も自動化されています。

この金属 3D プリンタは材料のロスが少ない、また「SDGs」の観点です。金属加工の多岐にわたる材料の加工を実現するため、従来の材料の切り出しは廃棄となります。しかし、LPM325Sの金属 3D プリンタは部品加工に必要な材料を削り出すというプロセスがなくなることにより、廃棄が大幅に削減されます。また、従来の廃棄物処理コストの削減も実現しています。さらに、MRSの交換作業も自動化されています。また、MRSの交換作業も自動化されています。

■審査講評：3Dプリンターはさまざまな領域での可能性が期待されているが、この作品を見たことで、金属加工の分野での実用性に納得がいった。確かに、金属加工で材料を削って作る従来のやり方だと時間もかかるし、何よりも削りくずが産業廃棄物になっていしまう。しかし、同社の金属 3D プリンターを用いることで、時間が大幅に短縮でき、しかも削りくずが出ないという「SDGs」対応の製品であることがよく理解できる。30段のスペースをフルに使った説得力のある作品である。  
(※原文のまま掲載)

## ■授賞式の様子



11月30日 於：東京・虎ノ門のオークラ東京